

私たちはお客様の成長を支援し、“力チあるもの”を創ります

Vol. 204

2022年4月

the Heartful OAG



- 02 ウクライナ緊急支援プロジェクト「支援金へご協力をお願い」
- 04 人生100年時代にOAGライフサポートが提供する
「家族に頼らないおひとりさまの終活」
- 08 聞きたいことが何でも聞ける終活相談会のご案内
- 09 私のOff-Time
- 10 安のカメラ紀行
- 11 安のOAG思い出徒然日誌
- 12 トピックス・メディア掲載情報・セミナー情報



CHALLENGE



ウクライナ緊急支援プロジェクト 支援金へご協力をお願い

■ ウクライナからの避難民を受け入れるポーランドと福田会のつながり、 OAGの取り組みについて

1918年、第一次世界大戦の終戦の年、ポーランドがロシア、ドイツ、オーストリアから独立します。123年ぶりのことです。その時シベリアには20万人ほどのポーランド人が生活していたようです。独立運動は当然のことながら多くの孤児を生み出しました。1920年ポーランド人のアンナ・ビエルキエヴィチ (Anna Bielkiewicz) さんがシベリア孤児救済事業を立ち上げ、せめて子供たちだけでも救って欲しいと来日されました。当時の外務省は人道支援の見地から、日本赤十字、日本陸軍の協力のもと、この救済事業の支援に乗り出したのです。1920年から1922年に渡り、第一次、第二次救済事業で延べ765名の子供たちをシベリア各地から救済し、日本に連れてきました。第一次救済事業の際、東京の宿舎(療養所も兼ねていたと思われます)が福田会でした。福田会には375名の子供たちが1週間から最長4か月間生活し、本国に無事帰すことができたのです。

実は、この日本国最初の人道支援については、福田会の職員全員が知らず、この事実を教えてくれたのは2011年頃、当時の駐日ポーランド大使ヤドヴィガ・ロドヴィッチ大使が福田会を訪れて下さり、「この福田会は、あの福田会ですか?」「あの福田会とは何ですか?」我々は初めてその事実を知るのです。そして我々の使命は100年前の日本国の人道支援を、今後100年間つなぐことだと思ひ立ち、福田会ポーランド支部(運営はASAGAO(株)に委託)を立ち上げて現在に至っています。

その福田会ポーランド支部が活動を委託しているASAGAO(株)が、ポーランドに逃れて来たウクライナ人支援に乗り出すのを見るにつけ、福田会ポーランド支部の活動として支援活動を行い、その資金集めをOAGが支援するに至った経緯であります。

今、ロシアによるウクライナ侵攻を受け、そのポーランドが最大の避難民受け入れ国となっており、全国民が一致団結して様々なウクライナ支援活動を行っています。そのポーランドを支援する事(同じ戦争被害者です)は福田会の必然だと感じました。そしてOAGは福田会のウクライナ支援活動をバックアップする事を思い立ち、皆様方にこうしてお願いする次第であります。

ご協力くださった皆様からの支援金は、全額ウクライナ支援のために利用されることをお約束致します。コロナ禍でご苦勞の多い中で、このようなお願いになりましたことをお許しいただくとともに、ご無理のない範囲でのご協力をお願い申し上げます。



OAGグループ代表
社会福祉法人 福田会 理事長
太田 孝昭



当時の福田会の敷地内で撮影した孤児たちの写真
現在もこの写真と同じ場所に福田会があります

■ ポーランドに避難してくる方々のため、 温かいご支援をお願いいたします

2022年2月24日(木)より始まったロシアのウクライナ侵攻により、現時点で200万人を超える人々が国境を渡り、ポーランドへと避難してきています。ポーランドでは行政の他、企業や個人による民間のボランティアを総動員し、これらの避難民への対応を行っています。避難所では、食料品、衛生用品、温かい衣類といった生活必需品の枯渇が始まっており、避難時も、避難した後も、生活のできる環境を整えるため、継続的な支援が必要な状態です。このような状況下で、必要な活動を日本で考え、物資を日本で集めてポーランドに輸送するのは現実的ではありません。そこで、ポーランドとの繋がりの強さを活かし、ポーランド現地で判断し、都度必要な物資を調達し配付する、現金を直接渡す、買い物券を渡すなど、現地の実情に合わせ、機動的に支援する方法で支援する事としました。上記の事情をご拝察いただき、ご寄附をお願いする次第です。



現地の様子(3月1日、ハリコフにて撮影)



ウクライナ緊急支援プロジェクト 概要

01.実施方法

クラブに拠点を置く社会福祉法人福田会ポーランド支部(運営はASAGAO代表:吉田祐美)が**直接**に支援を行い、かつ**確認**する事とします。ご寄附いただいた金額については**全額寄附**いたします。

寄附の為の業務経費(交通費、人件費等)は、OAGで負担させていただく事としました。

社会福祉法人福田会 ポーランド支部について

ポーランド孤児の史実のポーランド国内での周知等の為、福田会は、2019年よりASAGAO有限会社(代表:吉田祐美)と業務委託契約を締結し、社会福祉法人福田会ポーランド支部として現地での活動を行っていただいています。2020年にはポーランド孤児来日・帰国100周年記念式典をワルシャワにて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で現在まで延期となっております。この式典の開催に向けてのポーランド大統領府や首相府、その他の関係者との交渉や連絡も全てASAGAOが担っています。このASAGAOに、福田会が行うウクライナ支援事業活動は福田会ポーランド支部として活動してもらうべく新たに業務委託契約を締結致しました。

社会福祉法人
福田会HP



ASAGAO有限会社に
運営委託している
シベリア孤児に関するHP



02.支援プロジェクト活動の報告方法

福田会ポーランド支部の活動状況は、SNS、福田会後援会のホームページ(<http://fukudenkai.org/>)等で公開します。

6月末までの活動で一旦締めさせていただきます、決算報告いたします。

福田会後援会HP



ASAGAO(術)が
独自で展開している
支援活動HP



03.プロジェクト期間 2022年3月6日から6月8日(現地の状況によっては延長の可能性あり)

04.ご寄附の方法

別紙、寄附申込書に必要事項をご記入いただき、メール、郵便またはFaxにて福田会までご送付ください。(PDF、写真でのメール送信も可能)

送
付
先

E-mail: koho@fukudenkai.or.jp (担当:我妻)
F A X: 03-3407-0478
郵 送: 〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-12
社会福祉法人 福田会 担当:我妻 宛

05.ご寄附 受付先

今回のウクライナ避難民への緊急支援にあたり、専用口座を開いております。右記口座まで、ご入金をお願い致します。

金融機関名: さわか信用金庫 支店名: 広尾白金支店
口座番号: 1177223
名 義: 社会福祉法人 福田会(ふくでんかい)ウクライナ支援寄附口座
理事長 太田 孝昭(おた たかあき)

06.ご寄附の税制優遇について

社会福祉法人福田会は特定公益増進法人のため、ご寄附は税制優遇を受けることができます。個人の方からのご寄附は、特定寄附金として①寄附金控除(所得控除)と②寄附金特別控除(税額控除)のどちらか有利な方を選択することが可能です。法人様からのご寄附は、特定公益増進法人に対する寄附金として損金算入を計算することが可能です。ご寄附を頂きました皆様には後日領収書を発行いたしますので、必要な手続きにご活用ください(10月頃発送予定)。詳しくは住所地の自治体や所轄税務署、OAGを含む専門家等への確認をお願いいたします。



当社オウンドメディア
「アセットキャンパスOAG」
でも情報を掲載

ウクライナ支援プロジェクトに関するお問い合わせ先

福田会(担当:我妻)

E-mail: koho@fukudenkai.or.jp

T E L: 03-5466-0459 / 080-9093-8472

OAGグループ(担当:石鍋)

E-mail: ukraina-support@oag-tax.co.jp



尊厳信託®で「一億総おひとりさま社会」に向けた備えを

人生100年時代に OAGライフサポートが提供する 「家族に頼らないおひとりさまの終活」



株式会社OAGライフサポート
シニアマネジャー 行政書士
黒澤史津乃

近年、さまざまな分野で多様性を認めようという機運が高まってきています。しかし残念ながら、特に高齢期における「おひとりさま」への理解は、進んでいるとは言い難い状況です。社会的な仕組みのほぼすべてが、「呼べばすぐに駆けつけてくれる家族がいる」ということが前提となっているからです。誰にも迷惑は掛けたくないと思っても、病気や認知症になったとき、そして亡くなった後には、どんな人でも「家族かそれに代わる誰か」の助けが必要となります。人生100年時代に増えつづける「おひとりさま」。大切な尊厳を信じて託すことにより、家族に頼らず安心して老後とその先を迎えることができる備えについて考えてみましょう。

1. おひとりさまの終活

①おひとりさまの定義

「おひとりさま」というと、未婚で子どもがいない人、子どもがなく配偶者と死別した人、または離婚した人、こんな方々がまずは思い浮かぶことでしょう。子どもがいても、遠方ですぐに駆けつけてもらえない、折り合いが悪くて頼りにできないかもしれません。それだけではありません。病気や認知症で正常な判断ができなくなったときに備えて、家族がいてもいなくても、その先の生き方や人生の幕引きについて自分自身で決めておきたいと考える方は、皆、前向きな「おひとりさま」です。これからは、無条件で家族に決定権が移行するという常識が崩れ、「一億総おひとりさま時代」の幕が開くことになるでしょう。

②終活っていつ始めて、何をすればいい？

終活という言葉が一般化し、漠然と「終活を始めなければ」と不安や焦りを感じる方が増えているそうです。私は、幅広い年齢層の方々から「終活はいつ始めればよいですか？」と質問を受けたときは、いつも「その質問をした『今』です」とお答えしています。正常な判断ができなくなったときのこと、そして亡くなった後のことを決めておくのが終活ですから、決定する時点では正常な理解力・判断力が必要です。終活という言葉が頭に浮かんだときが、終活の始め時です。では、終活を始めようと思いついたら、何をすればよいのでしょうか。まず思い浮かぶのは、葬儀とお墓のことかもしれません。

生涯未婚で子どもはいません。ひとりで頑張って生きてきました。

妻と離婚してからずっとひとりです。子どもも疎遠になっていますが仕方ありません。

子どもには恵まれませんでしたが、夫婦お互いを頼りに仲良く過ごしています。

私は「おひとりさま」ではないと思っていました。でも、自分の人生の幕引きについては、誰かに頼り切るのではなく自分の意思で決めておきたい。誰にも迷惑を掛けず、自分の人生を仕舞いたいと願います。

夫に先立たれてしまい没イ子です。ひとりでも充実した生活を送っています。

夫婦だけの生活で、海外に住む孫とのスマホのビデオ通話が楽しみです。

意見の相違から絶交状態となった息子夫婦には、頼らずに生きていきます。

夫婦でも子どもがいても

子どもなし 配偶者死別

夫婦 子ども世帯が遠方居住

夫婦 子どもなし 夫婦

夫婦 子ども世帯と疎遠

確かに、亡くなった後のことだけは決して自分ではできませんから、自動的に家族がやってくれる当てがなければ、あらかじめ決めておくべきです。そこで、生きている間は何とかなるから、死後のことだけを頼みたいと考える人も多いようです。しかし、死後の事務を頼まれても、誰かが死亡の事実を知らせてくれない限り、頼まれていた葬儀を始めることはできません。つまり、終活にとって大切なのは、死亡後のことだけでなく、亡くなった事実をいち早く把握してもらう権限も含め、死亡の前後のこ

とを切れ目なく考えて備えておくことです。

病気や認知症などにより正常な判断が難しくなった場合の意思決定や情報管理をどうするのかということも、終活にとって重要な要素です。

③最終目標は「尊厳を誰に託すのか」

「おひとりさまの終活」のポイント

- ① 始めるタイミングは「**お元気なとき**」
- ② カバーすべき範囲は、死後だけでなく、生前に正常な判断ができなくなる時期も含めた「**死の前後の時期**」
- ③ 最重要ポイントは、**取りまとめ・実現の役割**をしてくれる人（団体）を「**選定して託すこと**」

おひとりさまの終活における最大のヤマ場は、「尊厳を誰に託すのか」ということです。

エンディングノートをいくら緻密に仕上げても、いざという時に誰にも見つけてもらえなければ、せっかくのメッセージが絵に描いた餅となってしまいます。

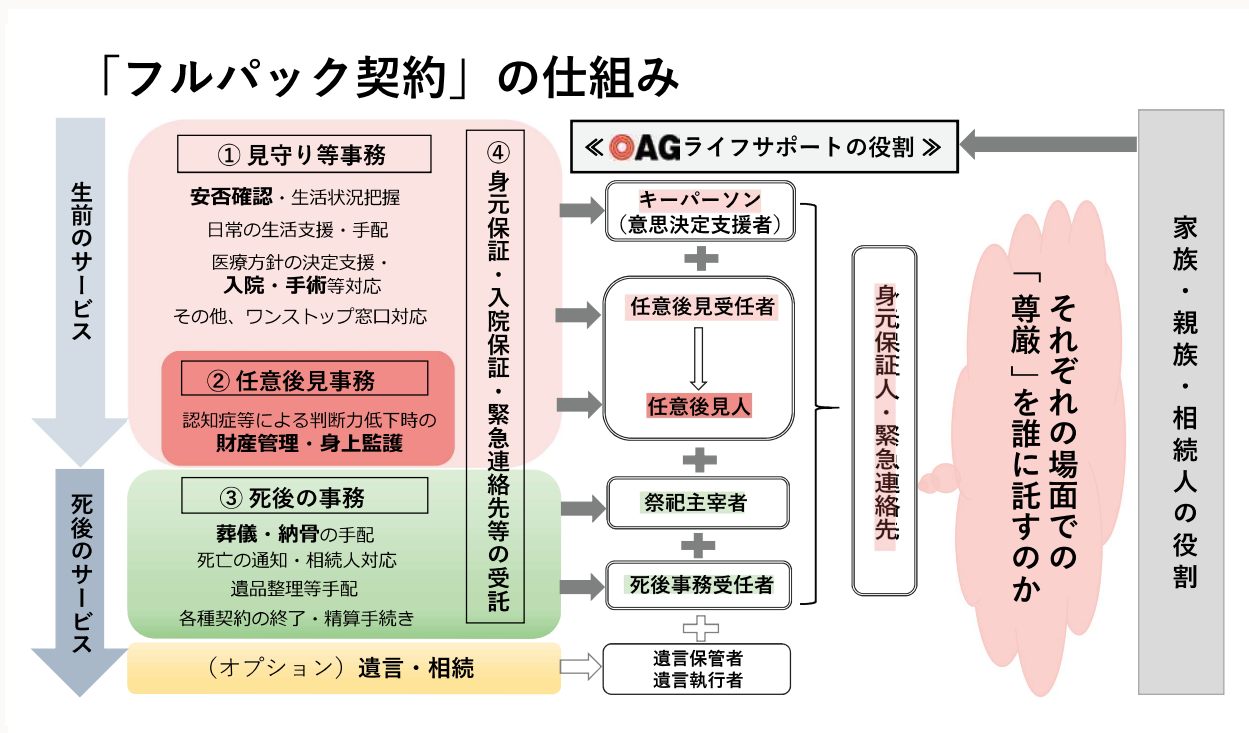
終末期医療の希望表明も、認知症に備えた保険も、葬儀社の生前予約も、永代供養の納骨堂も、すべてが大切な「尊厳」です。誰かが取りまとめ役となって情報を集約し、必要な時期に権限を持った誰かが手続きをしなければ、残念ながら事前の希望表明や意思決定（尊厳）が実現されることはありません。

貴方の尊厳の取りまとめと実現の役割を、親族に頼むのか、専門職に頼むのか、それとも「身元保証等高齢者サポート事業者」

と呼ばれる団体に頼むのか。正常な判断ができなくなったときの尊厳を信じて託す相手ですから、慎重を期して選別すべきです。

OAGライフサポートは、その選択肢の一つとして「尊厳信託®」と名付けて各種サービスを提供しています。

2. 全方向で安心「フルパック契約」の仕組み



OAGライフサポートの「尊厳信託®」では、頼るべき親族が誰もいなくても、安心してひとりで老後とその先を迎えられるように、いつでも起こっても対応可能な「フルパック契約」をご提供しています。

まずは、継続的な見守りにより、自立した生活の維持が難しくなるタイミングを把握できるようにします。

そして、病気や認知症などで正常な判断が難しくなったときは、意思決定の支援や、任意後見制度を利用して重要な意思決定の代理ができるようにします。

具体的には、入退院の支援、手術の対応、介護の手配、生活の質(QOL)の維持のための手配、高齢者施設などへの住み替え支援、在宅生活の支援、ワンストップの相談窓口対応、そして任意後見人となったときには、監督人や家庭裁判所による監督のもとでの財産管理、居所の選定、必要に応じた不動産の処分などを行うことになります。

人生の最終段階においては、事前に申し出ていただいていたご希望を最優先し、医療や介護の関係者と連携しながら、ご本人の望む

形での最期を迎えられるようにいたします。

ご逝去後は、OAGライフサポートが喪主となって葬儀・納骨を施行する他、遺品整理、健康保険及び年金の死亡届出、公共料金・携帯電話その他各種契約の死亡による終了手続き、最後の入院費精算その他各種未払金の精算など、経験豊富なスタッフが、**死後事務**を漏れなく粛々と履行いたします。

ここまで万全なご契約を締結していただくことにより、高齢者施設ご入居時や病院への入院の際に必要な**身元保証人**を、OAGライフサポートとしてお引受けすることができるようになります。

他にも、大切なペットの対応や、これまでは家族でないとできないとされてきた様々な支援をいたしますので、安心して「おひとりさまライフ」を満喫していただけます。

3. 「フルパック契約」から引き算で

OAGライフサポートのサービスメニューの一例

	相談	安否確認	入院手術	生活支援	身元保証	任意後見	死後葬儀納骨	死後賃貸対応	死後遺品整理	死後各種手続	条件
メイト会員	○										
メイト・プラス会員	○										
死後事務のみ会員	○						○	○	○	○	死亡の事実を確実に知らせてくれる人
安否確認プラス 死後事務会員	○	○					○	○	○	○	安否確認にご協力いただくこと
ライトパック会員	○	○	○	○			○	○	○	○	4親等以内の親族の同意
フルパック会員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	安否確認にご協力いただくこと
賃貸見守り会員	○	○						○	○		賃貸人との三者間契約

前述のような全方向に対応できる「フルパック契約」が理想ではありますが、時期や状況に応じて、リスクを十分にご理解いただいた上で、老後とその先へ向けて少しずつ備えをしていく方法もご用意しています。

特に最近では、高齢の親の介護や病気をそしてご逝去を経験する中で、「自分のときには誰がやってくれるのだろう」と不安を抱く、現役ミドル世代のおひとりさまも急増しています。

そうした方々には、死後事務の原資となるお金を、一括してOAGライフサポートにお預けいただく方法ではなく、毎月の掛け金で準備できる生命保険をご利用いただく方法で、初期コストを抑えながら安心を得ていただけるメニューもありますので、まずはお気軽にご相談ください。

4. 高齢でも家族がいなくても安心して部屋が借りられるように

OAGライフサポートの「尊厳信託®」では、家族に頼れないおひとりさま高齢者が賃貸住宅を借りられないという社会課題にも積極的に取り組んでいます。

おひとりさま高齢者が賃貸物件を探す際には、様々なリスクを懸念され、貸主側から断られることが当たり前になってきています。賃貸物件の空室率低下を望む貸主にとって、おひとりさま高齢者の「相続人に連絡が取れないと解約も残置物処分も進まない」「孤独死が起こると事故物件化してしまう」というリスクを懸念するのは当然です。

そこで、国土交通省及び法務省が策定した「残置物の処理等に関するモデル契約条項」をベースに、貸主が不安視する高齢居住者の孤独死による事故物件化のリスクを軽減するための条項を加えた「賃貸見守り契約」という画期的な仕組みを作りました。

この契約を賃貸借契約に付加することにより、借りたい単身高齢者と、貸したい貸主とのミスマッチの解消が可能になります。

さらに、この契約には、ヤマト運輸株式会社様が提供する「見守りサービス あんしんハローライトプラン」が組み込まれており、ヤマト運輸のスタッフの方々のご協力を得ることができるので、全国各地でのサービス提供が可能となります。

何も「備え」をしないと...



貸貸見守り契約があれば!!



下記のチェックリストに当てはまる項目が多いと感じた方は、おひとりで抱え込まずに
お気軽にOAGライフサポートまでご相談ください。

「人生100年時代」のおひとりさまチェックリスト

<p>ひとり暮らし</p>	<input type="checkbox"/> 入院や手術のときに家族として来てくれる人や「保証人」がない <input type="checkbox"/> 将来は老人ホーム入居も考えたいが、「保証人」がない <input type="checkbox"/> 生活のちょっとしたことを、ワンストップで相談できる人がいない <input type="checkbox"/> 体調が急変したら、どうしたらよいか・どうなるのかわからない <input type="checkbox"/> 「突然死」「孤独死」が心配
<p>社会的孤立</p>	<input type="checkbox"/> 気軽に付き合える友人が近くにいない <input type="checkbox"/> 近所づきあいが無いのが不安 <input type="checkbox"/> 地域での繋がりが無いのが不安 <input type="checkbox"/> 人付き合いが苦手で、友人・近所づきあいを求めるのは気が重い
<p>認知症健康状態</p>	<input type="checkbox"/> 認知症になったときの、住まいやお金の管理が心配 <input type="checkbox"/> 病気や介護が必要になったときに、頼れる人がいない <input type="checkbox"/> 延命治療など、医療方針についての自分の意思を、託せる人がいない <input type="checkbox"/> 認知症や病気になったときのペットの世話が心配
<p>ご逝去後のこと</p>	<input type="checkbox"/> 葬儀・納骨のことを決めておきたいが、頼める人がいない <input type="checkbox"/> 遺品の片付けや、携帯電話など各種契約の解約を、頼める人がいない <input type="checkbox"/> 死亡の事実をいち早く知り、必要なところに知らせてくれる人がいない <input type="checkbox"/> 死後に残る預貯金や不動産のこと、遺言・相続税のことを相談したい
<p>親・兄弟等のこと</p>	<input type="checkbox"/> 高齢の親の認知症や介護のこと、死後の手続きのことを相談できる人がいない <input type="checkbox"/> 障害のある子どもや兄弟などの先行きが心配

OAGライフサポートは、専門性と総合力を強みとするOAGグループ各社を後ろ盾として、誰もがこれから経験する人生100年時代の「エンディング期」を総合的に支援するサービスを幅広く展開しています。

[ホームページ](#)

[お問い合わせフォーム](#)

お問い合わせ先

株式会社OAGライフサポート

Tel. **03-6261-4145** 担当 黒澤、小池



challenge!!

“もっと◎AGのFANをつくりたい”

グループの総合力が活かせる“4社合同のセミナー企画”の実施が決定いたしました!

すっかり一般的な言葉となった「終活」・・・しかし、終活って何から始めればよいのでしょうか？
そんなお悩みをお持ちのお客様にむけて、OAG税理士法人(東京ウエスト)、OAGコンサルティング、
OAGアウトソーシング、OAGライフサポートの専門家たちが集結し、「聞きたいことが何でも聞ける終活相談会」と題した終活セミナーと相談会を以下の日程で開催いたします。



先着**50**名様!参加費**無料!!**

50才からの終活
聞きたいことが何でも聞ける

終活相談会

予約制

終活セミナー同時開催

開催時間中は、セミナー受講、個別相談を自由にお受けいただけます。

日時 令和4年 **5月16日(月)** 10:00～16:00 (9:45開場)

会場 **調布市文化会館**
たづくり10階・11階 (受付10階)
■ 東京都調布市小島町2-33-1
■ 京王線「調布駅」広場口徒歩3分



参加者の方
全員にもれなく
「相続のいろは」を
プレゼント



興味のあるセミナーだけを選んでご参加いただけます!

第1部 10:00～11:00

【終活編：思い描く最期を迎えるために備えるべきこと】

- ・エンディングノートの書き方・活かし方
- ・もしものときの後見制度
- ・身元保証人とは? 死後事務委任とは?

第2部 11:10～12:30

【相続編：生涯をかけて築きあげた大切な財産を守るために】

- ・何からすればいい? 相続のきほん
- ・大事な財産を守る制度“家族信託”が知りたい
- ・最優先されるべき遺言書をのこしたい
- ・相続税対策のはなし
- ・便利な保険活用術



※お昼休みのあと、午前と同じ内容のセミナーを下記の時間帯でおこないます。

13:30～14:30 第1部と同じ内容 14:40～16:00 第2部と同じ内容

「終活相談会」お問い合わせ

ホームページ
OAG税理士法人 東京ウエスト
〒182-0022 東京都調布市国領町4-51-7 ピエール・シークル2階

ソゾク クイナイ
0120-39-9171 (平日9:00～17:00)

ホームページ 東京ウエスト 税

※ホームページ右上の [申込予約](#) [申込予約フォーム](#) から申し込みください。
「ご物件」欄に、セミナー名と参加人数をご記入ください。



申し込み専用フォーム

私の Off-Time

グループ経営管理本部 情報システム部

齋藤 望

運動習慣

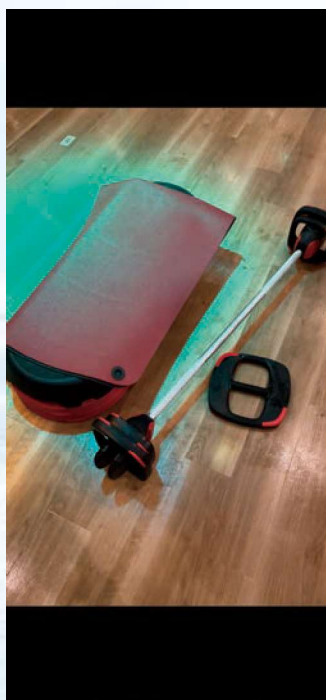
私の趣味は身体を動かすことです。以前の職場で海外赴任した際に、太り過ぎてしまい健康を害する恐れがあることから運動を始めたのがきっかけです。運動をはじめて約9ヶ月で27kgほどダイエットすることができました。それから数十年継続して運動を続けております。

実は取り組みはじめた当初は新鮮味があって楽しかったのですが、環境変化、生活リズムが変わってからは、継続することが辛い時期がありました。ただ、環境が変わったからといって、一度やると決めたことを簡単に投げ出してはよくないと自分に言い聞かせたのです。

結果、根気強く取り組んだことで、環境に身体が慣れていき、今も身体を動かすことに楽しさを感じられています。

また、身体を動かすことで良かったこととして、以下があげられます。

- 体力だけでなく、集中力、瞬発力が身についたこと。
- 運動をきっかけに若い頃とは違い好きなものだけ食べても何とかなるということではなく、食べた分だけ跳ね返ってくるというのが改めて理解でき、食事に気をつけるようになったこと。
- 太りやすく、体型が変わりやすいので、服の買い直しが多かったのですが、身体を動かす習慣により、無駄遣いを抑えることができるようになったこと。



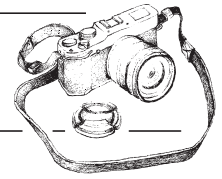


Photo by Yasuyoshi Wada



▲ 西郷隆盛像



▲ 西郷どんとワンコ対決



▲ 彰義隊の墓



▲ 上野東照宮 神門



▲ 旧上野寛永寺五重塔



▲ 旧東京音楽学校奏楽堂

2021年春に続いて秋にも竹馬の友と下町歴史探訪に行ってきました。

昨今、散歩スポットとして人気が出ている通称「谷・根・千」（や・ね・せん）と言われている谷中、根津、千駄木辺りで、寺町通り、レトロな屋敷、文豪が住んだ街そして有名な霊園・神社等々、より取り見取りの名跡、風景がある地域です。

谷・根・千に行く前にその玄関口である上野の山を散歩しようということになり、JR上野公園口の改札前で待ち合わせをした後、10時30分に出発しました。

上野公園と言えば遡ること60年前、小学5年生の遠足で東京見物に来た時に、田舎者の僕にとって衝撃的なことが3つありました。渋谷駅のビル(旧東横ビル)の中へ電車(地下鉄銀座線)が走っていったこと、そびえ立つ東京タワーの展望台から見た大都会のビル群そして東京のランドマークと当時言われていた上野公園の西郷隆盛銅像の大きさでした。上野公園を訪れたのですから、たぶん美術館とか博物館にも行ったと思いますが、その記憶は無く西郷隆盛銅像だけが記憶の片隅にありました。それ以来、その銅像と邂逅することはありませんでしたが(上野公園には動物園や美術展等で何度も行っていますが、西郷さんは横目で見て通り過ぎていました)、最近ではワンコの散歩で上野公園に度々来るようになり、時々銅像を背景にワンコの写真を撮りました。面白いことにワンコは西郷さんの横にいる犬の銅像に向かって、かん高く吠えるのです。何故だろうか？敵と思っているのか、悠々と動じない姿に怯えているのだろうか、...

その西郷隆盛銅像の後ろ側にあるのが彰義隊の墓です。この墓は全く僕は知らなくて、歴史に詳しい友人が墓参りをしたいというので、何処にあるのか探したら西郷銅像の後ろの木立の中に隠れるようにひっそりとありました。その墓の看板には「彰義隊は、あくまで幕府に忠義を貫き、幕威を再興しようとする旧幕臣たちを中心に構成されていた。徳川慶喜が謹慎先の上野寛永寺から水戸へ帰ってからも、依然として不穏な動きをつづけ武装解除に

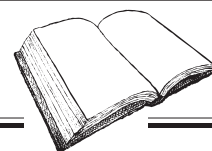
も応じない彰義隊の討伐を決定。慶応4年5月15日、新政府軍が、上野寛永寺周辺にたてこもる彰義隊を包囲した。雨中の激戦の末、新政府軍の圧倒的な火力により、わずか1日で彰義隊は壊滅した(上野戦争)。上野戦争は、戊辰戦争(新政府軍と旧幕軍勢力との戦い)で、江戸市中で起きた唯一の組織的な戦闘である。100名以上といわれる彰義隊戦死者は当地で茶昆(だび)に付されたが、逆賊とみなされた彼らの墓を建立することが許されたのは、ようやく明治7年になってからだった。その墓碑銘も政府をはばかり「彰義隊」の名は記されていない。」と記されていました。彰義隊の墓を後にして上野精養軒の横を通り上野東照宮の神門に着きました。ここは日光東照宮、久能山東照宮と並び3大東照宮の一つで徳川家康・徳川吉宗・徳川慶喜を祀っています。神門から銅灯籠が両側に並び建つ参道の奥に金色の拜殿と唐門があり又参道の壁の向こう側に旧上野寛永寺五重塔があり、東照宮と五重塔は歴史の重みを感じられる建造物で一見の価値がありました。コロナ禍で平日の午前だったので、人も疎らでゆっくり観賞することが出来ました。そぞろ歩きながら、開門前の上野動物園の正門を通りすぎると今度は明治時代の歴史的建造物の旧東京音楽学校奏楽堂が見えてきました。この奏楽堂はまだ現役の音楽ホールとして活用されているようです。次もまた旧が付く旧博物館動物園駅があり、上野公園の地下に作った京成電鉄の駅でしたが、利用客が少なく1997年に営業停止になった駅です。建設する時は御料地内に作るので品位に欠けるものではあってはならないと御前会議で決定されたそうです。その後、景観上歴史的重要な価値も持つ建造物の鉄道施設として東京都選定歴史的建造物に指定されました。残念ながら地上の駅舎しか見ることが出来ませんが、時折、地下の駅改札やプラットフォームを公開する時は鉄道ファンが大勢やって来るようです。

さて、上野の森をブラブラ歩いてきましたが、ここでお別れして、次号で谷・根・千の歴史探訪に向うことにしましょう。

執筆:和田 安義

安の

◎AG 思い出徒然日誌 Vol.3



OAGは、お陰様で令和5年に**創業35年**を迎えます。

懐かしい創業当時の様子など、

これまでのOAGの歩みを徒然なるままに書き綴り、

皆さまにお届けしたいと思います。

税理士業界は、平成の当初から構造不況業種と言われていました。何故なら会社の新規設立がバブル崩壊から徐々に減ってきたにも拘らず毎年税理士登録者数は減ることはなく供給過剰気味になっていたのです。また税理士事務所は3Kとも呼ばれ「仕事がつい」「顧客や所長の要求が厳しい」「事務所が汚い」等なかなか優秀な人材が集まらない業界と言われてきました。そういう労働環境の中でも太田税務会計事務所は創業から毎年スタッフの採用をしてきました。

代表も僕も税理士業界は初めてだったので、税理士や事務職の採用をどうすればよいのかは全く未知の分野でした。最初はハローワークとリクルート社就職誌で募集を出しましたが、毎年、税理士試験が終わった後の8月上旬の週末に会計専門学校主催で就職説明会があるのを教えて貰い(当時はTACと大原簿記学校がそれぞれ主催)、その説明会に平成2年頃から現在に至るまで毎年参加してきました。つまり税理士事務所は、ほとんどが実務経験者である資格者か税理士事務所経験者を採用していて、所謂、中途採用が当たり前の業界でした。仕事柄、経理の専門職なので実務経験者でないと難しいこともあり又税理士事務所は新卒で採用した後に教育する環境も余裕もなく即戦力が必要だったからです。

また税理士を目指す人は将来、独立して税理士事務所を開業する夢を持っている人が多く、それまでの間は幾つかの税理士事務所を経験してから独立しようと思っているので、転職が多いのもこの業界の特徴でもあります。会計専門学校の生徒は昼間部もありますが、この説明会に訪れる皆さんは、昼間は会計事務所か企業で働き、夜間に簿記か税理士資格を勉強している人達です。

就職説明会は、都内の中小の会計事務所が多く参加していますが、特に大規模税理士事務所や監査法人系の事務所は、事務所パンフレットも豪華でブースも広く取っているのが、創業間もない事務所は自然と応募者も少なく苦戦したことを覚えています。それでも平成2年は8人、平成3年が5人、平成4年が8人と順調に採用してきて僕が採用活動に携わった平成14年

頃まで平均して毎年10名ほど採用してきました。毎年、面接した人数は30人以上だったと思います。

その就職説明会は前述のとおり税理士試験が終わった後の8月上旬の週末に実施されました。従って事前の準備と説明会後の面接などを含め7月20日から8月20日頃まではこの採用活動に費やされてきましたので、ちょうど小中学生だった子供達との夏休みは採用活動が一段落した8月下旬頃に過ぎました。この時期は夏の繁忙期が過ぎて、宿も海水浴場なども空いていて逆にのびのびと遊ぶことが出来て、今思えばこの時代の8月は仕事もプライベートも忙しく楽しくもあり、凄く充実した日々でありました。

就職説明会は、応募する人達は自分の将来をどの事務所に託すのかという人生でも重要なターニングポイントであるので、色々な事務所を廻って話を聞いています。会場に来ている応募者の目は本当に真剣そのものでしたので、此方もそれに応えるべく採用活動をしっかりとしつづけて入社してから良かったと思われる事務所体制の構築をしなければならないことをこの就職説明会で教えられたのです。

あれから平成が終わり令和になった現在、当時採用してきたメンバーの皆さんがOAGグループや税理士業界そして他企業で活躍している姿を見たり聞いたりすると懐かしさと共に何とも言えない嬉しさが込み上げてくる自分がいるのです。今更ながら有意義な価値ある仕事をさせて頂いたと思う今日この頃です。



▶ 執筆: 和田 安義

トピックス

» OAGコンサルティング 事業承継サービスメニュー
「家族信託コンサルティング」ページを開設しました

「家族信託」をご存知ですか？

家族信託とは信頼できるご家族やご親族に、ご自分の財産(不動産・自株・金銭など)を託して、管理・運用・処分を託せる制度のことです。「民事信託」とも呼ばれ、信託銀行や信託会社の商事信託とは異なります。遺言者がお亡くなりになってから効力が発生する遺言と異なり、委託者や受益者がお元気なときから、資産管理全般を後継者に託すことができます。家族信託契約はいつでも始めることができ、設計の自由度も高いことから、積極的に活用されています。

お問い合わせ 株式会社OAGコンサルティング 担当 土岐、立松
TEL: 03-3237-8008

詳細はコチラ



メディア掲載情報

» 各メディアに積極的に寄稿しています！

●不動産投資と収益物件の情報サイト 健美家 3月17日掲載

OAG司法書士法人
代表司法書士 太田垣 章子

大家の損害は甚大！
「賃借人が亡くなった」と
言う相談が急増中
【太田垣章子のトラブル解決！】



記事はコチラ

健美家 太田垣



●Yahoo!ニュース 3月18日掲載

OAG司法書士法人
代表司法書士 太田垣 章子

知らないと損する
引越し時の「原状回復義務」
入退去時にやっておくべき
3つのポイント



記事はコチラ

Yahooニュース 太田垣



●東洋経済ONLINE 3月31日掲載

OAG社会保険労務士法人・
社会保険労務士 三浦 絵美

取引先に「仕事が雑だよね」は
パワハラにあたるか
2022年4月から「防止法」が
中小企業でも施行

東洋経済オンライン 社労士 三浦 絵美



セミナー情報

» 各種セミナーの開催情報をお知らせします

●オーナーズ・スタイル主催

賃貸経営+相続対策
大家さんフェスタ

- 講師 13:40登壇
OAG司法書士法人 代表司法書士
太田垣 章子
- 日時 令和4年4月16日(土)
- 場所 9:30(開場)~16:40(閉場)
新宿NSビル地下1階イベントホール
東京都新宿区西新宿2-4-1
- 受講料 無料 予約制
(予約締切4月12日(火)17:00)



詳細お申し込み

●PCA主催

協賛:OAG税理士法人
今さら聞けない!セミナー
実務担当者から経営者まで、
知って、納得、インボイス

- 講師 13:30登壇 OAG税理士法人 大阪
日本公認会計士協会準会員
大谷 洋一郎
- 日時 令和4年4月19日(火)13:30~
- 場所 オンライン
- 受講料 無料
- お問い合わせ ビー・シー・エー株式会社
セミナー事務局
webinar@pca.co.jp



詳細お申し込み

●OAGグループ主催

50歳からの終活
聞きたいことが何でも聞ける
終活相談会
終活セミナー同時開催

- 日時 令和4年5月16日(月)
- 場所 東京都調布市 調布市文化会館
たづくり10階・11階(受付10階)
東京都調布市小島町2-33-1
京王線「調布駅」広場口徒歩3分
- 受講料 無料
- お問い合わせ OAG税理士法人
東京ウエスト
0120-39-9171

詳しくは8ページを
ご覧ください。



詳細お申し込み



■住所 東京都千代田区五番町6-2
ホームポートホライゾン tel.03-3237-7500
■発行人 グループ代表 太田 孝昭
■制作 グループ経営管理本部 広報部



メルマガ



YouTube



OAGグループ
Twitter



アセットキャンパスOAG
Twitter

